

日本語電子化教材のインターネット公開に関わる問題について

坂谷内 勝（国立教育研究所）

1. はじめに

CASTEL/J研究プロジェクトは、昭和62年度から平成元年度までの科学研究費補助金試験研究「パソコンによる外国人のための日本語教育支援システムの開発」（文献(1) 参照）の研究グループが中心となって発足した。現在のCASTEL/J研究プロジェクトは、平成11年度から4か年計画で進めている科学研究費補助金基盤研究「日本語教育支援のための汎用的教材構成要素の開発と流通に関する研究」（研究代表者：国立教育研究所，坂谷内勝）の研究グループが中心となって研究を進めている。

CASTEL/J研究プロジェクトは、日本語教育に関わる様々な問題（国内外の教師不足や教材不足など）を改善するために、コンピュータの有効活用を推進する研究を行ってきた。そして、日本語教育支援システムの開発に向けて必要不可欠である、電子化教材（データベース）の開発を行ってきた。多くの著作者の善意と協力の下で、日本語教育に役立つ教材源（漢字辞書、筆順辞書、単語辞書、用例辞書、学術辞書、和英辞書、新書、科学読み物、白書、教科書、新聞、試験問題、映画台本、音声、画像）をコンピュータ上でデジタル化し、データベースとして利用できるようなした（文献(2)-(6) 参照）。CASTEL/Jデータベースの収録内容は付録に示す。

現在、このデータベースはCD-ROMの媒体で利用希望者に配布しているが、近い将来、筆者はこのデータベースをインターネット上で公開したいと考えている。しかし、日本語電子化教材をインターネット上で公開するには事前に検討すべき事項がある。そこで、インターネットの利点及び欠点、さらに、インターネット公開に関わる問題（著作権）について以下に述べる。

2. インターネットの利点

インターネットは、個々のパソコンをネットワークで接続することにより、様々な情報を収集したり提供したりするために利用されている。

インターネットを介して、http, ftp, telnet等の様々な利用が可能であるが、広く一般に利用されているのは、WWW(World Wide Web)ブラウザで読み書きできるホームページ(Webページ)と電子メールである。一般に電子メールは、メールアドレスを保有する面識のある利用者に対して情報発信するために利用されるが、ときには、ダイレクトメールのように同じ内容のメールを面識のない多数の利用者に情報発信するために利用される。一方、ホームページは不特定多数の利用者を対象に情報発信することが多い。

いずれの場合でも、簡易に瞬時に広範囲に同質の情報を提供できる手段としてインターネットが利用できるのも、インターネットの最大の利点がここにあるといえる。特に企業等の広告や宣伝を情報発信するには、都合良い手段といえる。

3. インターネットの欠点

インターネットの欠点は、次のとおりである。

(1) すべての人が電子メールやホームページを利用していない

言うまでもなく、パソコン経験のない人は電子メールやホームページの利用方法を知らない。また、パソコンを持っていてもネットワーク接続していなければインターネットを利用できない。さらに、電子メールやホームページが利用できる人でも、個人の各種メディアに対する価値観の違いによって、頻繁に利用していない人がいる。

(2) 時空間の短縮による軽薄な情報の授受が行われる場合がある

特に電子メールは、パソコンのキーボードで入力した文章を瞬時に送信し、相手はそのメールを短時間で受信することができる。海外のように距離が離れていても、メールが配達される時間は短い。したがって、メール送信者は送信する内容を十分吟味せず、そのメールを発信する人がいる。すなわち、メールによる情報の中には、軽薄なまたは冗長な情報が存在する場合がある。

(3) 電子メールやホームページを見る時間の浪費がある

新しいメディア（電子メディアやホームページ）から情報を得るためには、これまでの生活にはなかったメールチェックやホームページ検索の時間が必要である。受信するメールがないときや、探したい情報がホームページの中から見つからない場合は、多忙な時間を浪費している場合がある。

(4) 情報の洪水に伴うトラブルが生じている

キーワード検索で膨大な数の情報（ホームページ）が見つかった場合、すべての情報を見るのが困難であり、情報の洪水の中で目的を達成できない場合がある。また、映像、音声、動画のような容量の大きい情報をコンピュータに蓄積し続けると、ハードディスクがいっぱいになって情報の整理ができなくなる。

(5) 利用者はネットワークトラブルに無力である。

ネットワークの世界でのトラブルに対して、一般利用者は何が起こったのか理解することができない。ネットワークトラブルが起きたときは、自分のパソコンが悪いのか、プロバイダーが悪いのか、相手のパソコンが悪いのか、すべてを疑いつつ対処しなければならない。

4. インターネット公開に関わる著作権問題

インターネットで情報を簡単に入手したり公開したりすることができる。しかし、著作物を複製するときや再編集（加工、改変、追加、結合、切断、変形、選択、調整、配列）するときは、いわゆる著作権問題に対して慎重に対処しなければならない。

著作権は大きく著作者人格権と著作（財産）権に分かれる（参考文献(7) 参照）。著作者人格権には、公表権、氏名表示権、同一性保持権が含まれる。著作（財産）権には、複製権、上演権、演奏権、放送権、有線送信権、口述権、映画上演権、領布権、展示権、貸与権、翻訳権、編曲権、変形権、脚色権、映画化権、翻案権、二次的著作物利用に関する許諾権が含まれる。

吉田正夫（参考文献(7) 参照）が「著作権は、禁止権である。著作権者がいやだと言え
ば、それを利用する必要がどんなにあっても、その情報が著作物である限り、複製に該
当する態様での利用はできない。（ただし、私的使用のための複製や図書館などにおける複
製を除く。）」と述べているように、著作権者の許諾なく著作物を複製することは禁止さ
れている。

5. おわりに

本稿では、日本語電子化教材をインターネットで公開することを前提に、インターネッ
トの利点・欠点、そして著作物公開の問題（著作権）について報告した。

インターネットの利点はだれもが認めていることであり、今後益々インターネットが発
展するのは間違いない。しかし、インターネットの欠点については、情報を授受する利用
者相互にとって共通の認識があるかどうか疑わしい。インターネット利用者は、利点のみ
を強調するのではなく、欠点についても理解しなければならない。

最後に、日本語電子化教材をインターネットで公開するためには、だれもが利用できる
「流通管理システム（ホームページのようなもの）」の構築が必要である。CASTEL/J研究
プロジェクトは、現在のCD-ROMによるデータベースの配布からインターネットを介したデ
ータベースの配布を検討している。

このシステムから得られる教材が本当に良質ならば、その教材を開発した著作権者の善
意に感謝する方法を確立したいと考えている。感謝する方法とは、良質な教材を開発した
著作権者に対価を支払う方法と、「Give and Take」の精神で、自ら良質な教材を開発し、
それをシステムに提供するという方法を検討している。

〔参考文献〕

- (1) 宮本繁雄（研究代表者）、「パソコンによる外国人のための日本語教育支援システム
の開発」、文部省科学研究費補助金、試験研究(1)、研究成果報告書、NO. 62890010, P
P. 1-148, 1990.
- (2) 瀧澤博三（研究代表者）、「日本語教育・学習支援システムの開発」、文部省科学研
究費補助金、国際学術研究（共同研究）、研究成果報告書、NO. 02044153, PP. 1-132, 1
993.
- (3) 坂谷内勝, 吉岡亮衛, 小松幸廣, 「CASTEL/Jの開発 (1)～(3)」, 教育工学関連学協
会連合, 第4回全国大会講演論文集(第一分冊), PP. 327-334, 1994.
- (4) 浅木森利昭（研究代表者）、「マルチメディアを利用した日本語教育支援システムの
開発」、文部省科学研究費補助金、試験研究(B)、研究成果報告書、NO. 03559010, PP.
1-148, 1994.
- (5) 吉岡亮衛, 小松幸廣, 坂谷内勝, 及川昭文, 「日本語教育のための電子化辞書構築」,
情報処理学会, 研究報告, 95-CH-25, VOL. 95, NO. 14, PP. 39-48, 1995.
- (6) 坂谷内勝, 小松幸廣, 吉岡亮衛: 「CASTEL/J CD-ROM の開発について」, 日本教育工
学会, 研究報告集, JET98-6, PP. 41-48, 1998.

(7) 則近憲佑, 服部裕子, 「マルチメディアと知的財産権」, 情報処理, VOL. 37, NO. 2, PP. 117-121, 1996.

(8) 吉田正夫, 「マルチメディアと知的財産ルール」, 情報処理, VOL. 37, NO. 2, PP. 148-154, 1996.

【付録】 CASTEL/Jデータベースの内容

データベースの種類	収録内容 (コンテンツ)	収録数
漢字辞書	漢字に関する情報	6349字
筆順辞書	漢字の筆順情報	2966字
単語辞書	基礎日本語学習辞典の見出し語	2958語
用例辞書	基礎日本語学習辞典の用例	6427文
学術辞書	学術用語集の見出し語	130296語
和英辞書	ボックス和英辞典の見出し語	33566語
文字データ	新書, 白書, 記事, 映画台本等	97冊
音声データ	基本単語・用例の音声ファイル	4852の WAVファイル
画像データ	基本単語・用例の画像ファイル	3495の JPGファイル